

正智深谷高等学校特別コラム

# Mind Charging

Since 2020

第332回

森保 一

の名言

発行：入試広報室

発行日：令和4年12月12日

編集委員：入試広報室 鈴木



今回の言葉

「この監督じゃダメだ」  
という思いが、もしみんなの中に  
あるなら、協会にぶつけてくれて  
全然構わない。

森保 一（もりやす はじめ、1968年8月23日 - ）は、静岡県掛川市生まれ、長崎県長崎市出身の元プロサッカー選手、サッカー指導者（JFA 公認S級コーチ）。

## Column

社会現象的な盛り上がりを見せたサッカーワールドカップ2022カタール大会で、日本中に感動と世界中に驚きを与えたサッカー日本代表の監督の言葉です。『森保監督！あなたがダメなはずがない！』と言いたくなる気持ちになりますが、今回は言葉の内容云々ではなく、この言葉から伝わってくる森保監督の“覚悟”という意味で紹介することにしました。みなさんは覚悟を持つということや、覚悟を持った人というイメージをどのように持っていますか？森保監督のような“リーダー”だけでなく多くの人々が目標を持ち、達成するために覚悟を決めて一生懸命努力を積み重ねていると思います。覚悟が決まると人はどのように変わるのか。シンプルなところでは“パワー”だと思います。そのパワーに刺激を受けて自分自身も覚悟が決まったという経験がある人もいます。今回の言葉は大会までの時間の中で発せられたものだと思いますが、この言葉に込められた覚悟とパワーは今大会での日本代表が見せてくれた素晴らしいパフォーマンスや画面越しに伝わってくるパワーの源の一つになったのは間違いないと感じます。

ここまでコラムを書いている中で、日本代表の中で森保監督が“最初に”覚悟を決めたかどうかはわからないという発想が私の中に浮かんできました。もちろんリーダーが最初に旗を振るものだという考え方もあり、おそらくそれが“ベター”でしょうし、森保監督が最初に覚悟を決めたのだとも思います。しかし、ピッチで躍動する選手たちの表情は監督の覚悟に“乗った”というものではなく、あくまでも“自分発信”に見えました。森保監督は選手たちの覚悟の大きさとパワーを受け、覚悟を“改めて”決めたのではないのでしょうか。そんなパワーの行き来によってチーム内に非常に大きな『相乗効果』が生まれていたのではないのでしょうか。『古い』『根性論だけでは結果は出ない』などと言われますが、時代によって形は若干の変化があるものの、やはり“心”というものがあってこそ“人間らしさ”なのだと思います。思い切って自分のパワーを開放していきましょう！